

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境
の破壊を許すな!



エノコログサと
コヒルガオ

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387



第1部 記念講演
原発ゼロへ
～生命とくらしを守るために～
講師 **安斎育郎氏**
(立命館大学名誉教授)
第2部 広がる怒りの声と取り組み
第3部 ご近所パレード

ご家族そろって、
仲間を誘いあって、
気軽にご参加ください。

日時 **10月7日(日) 午後1時30分**
会場 **エルおおさか大ホール**
資料代 500円
原発ゼロの会・大阪
TEL (06)6949-8120 / FAX (06)6949-8121
メール info@genpatsuzero-osaka.com
HP http://genpatsuzero-osaka.com/

7月6日、大阪市保健所担当課長が「公害患者死亡見舞金廃止」について突然、事務所に事前説明に来ました。大阪市の6万円の見舞金を打ち切ることです。橋下さんが知事になって最初に打ち切ったのも、大阪府の5万円の見舞金でした。

7月17日付で橋下市長あてに要望書を提出、交渉の申し入れを行いました。また、1か月足らずの準備期間で、8月10日には「怒りとうろう」集会に取り組み、これまでに亡くなられた認定患者14570人の霊を慰

橋下さん 弱い者いじめ許さん!

公害患者死亡見舞金 突如「打ち切り」の説明

8月16日の交渉で大阪府は、多くの患者から「見舞金は単なる個人給付事業ではない。損害賠償の性格を持つもの」「工場がまき散らす激甚な大気汚染のもと、ぜん息などの呼吸器疾患で苦しむ患者が急増、死亡者が相次いだ。自治体が大気汚染に対する十分な規制や対策を行

める、怒りの灯火を携えて行進しました。

「既存の施設や事業についてすべてゼロベースで見直す。見舞金については個人給付事業の見直しで廃止したい」と述べました。



灯籠に思い思いの怒りを込めて 「怒りとうろう」集会でアピール

橋下さん、弱い者いじめやめてんか！ 見舞金打ち切らんといて！

8月10日中之島周辺で開かれた「怒りとうろう」集会には、

わず被害を増大させたことから、昭和48年（1973年）大阪市のささやかな申意の現れとして出されたものだ」「弱者切り捨てはいい加減にしてほしい」と、参加者のほとんどが抗議しまし

患者・家族・大阪労連・市対連をはじめ支援の方など100名を超える人たちが参加しました。公害認定患者が死亡した際に支給される見舞金は1973年6月、関西電力の発電所をはじめ工場がまき散らす大気汚染でぜん息などの呼吸器病で苦しむ患者が急増、死亡者が相次ぎました。そんな中、大阪府・大阪市は大気汚染対策を怠り多くの被害者を生み出した責任のもとにささやかな申意の表れとして見舞金を支給していません。

それが橋下知事時代の府の見舞金打ち切りに続き、市の見舞金も打ち切ると言うのです

7色に光る怒りの灯籠、白衣姿や思い思いのプラカードにはみんなの怒りがあふれていました。

たが、大阪府は「廃止は覆せない」と言い切りました。弱者切り捨て民主主義も憲法もない橋下維新の会には負けません。これからも闘います。（公害患者会 和久利正子）